SONY

4-172-847-**02**(1)

AC アダプター / チャージャー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
型名や定格を記載した機銘板は本機の底面にあります。

ActiFORCE™

InfoLITHIUM™ V SERIES　InfoLITHIUM™ H SERIES　InfoLITHIUM™ P SERIES

AC-VQV10

4172847020

http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

●安全のための注意事項を守る

●定期的に点検する

1 年に 1 度は、電源プラグ部に異常がないか、故障したまま使用していないか、また、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

●故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本機が破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口にご相談ください。

●万一、異常が起きたら

本機はコンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、不具合が生じたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、電源を遮断してください。

変な音やにおい、煙が出た場合は ➡ ❶ 電源プラグをコンセントから抜く ❷ ソニーの相談窓口に相談する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させるなどの衝撃や力を与えない

禁止

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理はソニーの相談窓口にご相談ください。

分解禁止

指定以外のバッテリー（電池）を使わない

火災やけがの原因になることがあります。

禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、本機をコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

禁止

水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で本機やバッテリーをぬらさない

感電の原因となります。

禁止

電源プラグ部は根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、発火、感電の原因となり、やけどやけがをする恐れがあります。

指示

水のある場所に置かない

本機やバッテリーに水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使ったりすると、火災や感電の原因となります。

風呂・シャワー室での使用禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源コードは加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
  万一コードが傷んだら、使用を中止し、ソニーの相談窓口へご相談ください。

禁止

火のそばや炎天下、高温になった車の中などで放置したり、充電したりしない

危険防止の保護回路が壊れることがあります。

禁止

⚠注意 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

水滴のかかる場所など、湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

禁止

ぬれた手で本機をさわらない

感電の原因となることがあります。

禁止

使用しないときは、電源コードをはずす

使用しないときは電源コードをコンセントから抜き、バッテリーをはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続コードは足に引っかけたりして引っぱると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

指示

通電中の本機、充電中のバッテリーに長時間ふれない

温度が上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

本機を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

使用上のご注意

本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。

充電について

- 必ずソニー製純正バッテリーをお使いください。
- 専用バッテリー以外の充電には使わないでください。
- バッテリーはしっかり取り付けてください。

充電するときの温度
- バッテリーの性能を充分に発揮させるためには、10℃～30℃での充電をおすすめします。また、周囲の温度が低くなるほど充電しにくくなります。
- 本機は急速充電対応ですが、上記の推奨温度範囲外で充電すると、バッテリー保護のために充電時間が長くなることがあります。一度充電時間が長くなると、周囲の温度が推奨温度範囲になっても急速充電には戻りません。バッテリーを取り付けなおして、再び充電しなおしてください。

置いてはいけない場所

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。
- 異常に高温になる場所
  ダッシュボードの上など直射日光の当たる場所や、熱器具の近くには置かないでください。炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になります。放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気や放射線のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になります。

使用について

- 水の入ったものや花瓶等を本機の上にのせないで下さい。
- 本機を壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 充電するときは、バッテリーを本機にしっかり取り付けてください。
- バッテリーを斜めに取り付けると端子部分を損傷することがあります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。
  ビデオカメラなどが正しく録画・再生できないことがあります。
- バッテリー保護のため、充電が完了しましたら、本機からバッテリーを取りはずしてください。
- 衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- TVやAMラジオやチューナーの近くで使わないでください。
  TVやラジオ、チューナーに雑音が入ることがあります。
- 本機はお手近なコンセントを使用してください。本機は充電ランプが消えていても電源から遮断されておりません。本機を使用中、不具合が生じたときは、すぐに本機をコンセントから抜き、電源を遮断してください。
- 本機や接続コードの接点部に他の金属類が触れないようにしてください。ショートすることがあります。
- 本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- 充電中および充電直後のバッテリーまたは本機は、あたたかくなる場合があります。
- 使用後は必ず電源コードをコンセントから抜いておいてください。抜くときは電源プラグを持って抜いてください。
- 充電したバッテリーはバッテリーチャージャーから取り出してください。そのまま取り付けていると、バッテリーの寿命を損なうことがあります。

お手入れについて

- 汚れがついたときは、柔らかい布やティッシュペーパーなどで、きれいに拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装を傷めたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装を傷めたりすることがあります。

海外へお持ちになる方へ

本機は、AC100 V–240 V、50/60 Hzの範囲でお使いいただけますので、世界中のほとんどのホテルおよびご家庭の商用電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状は各国、各地さまざまですので、お出かけ前には旅行代理店などでお確かめください。

変換プラグアダプターがなくても使える主な国／地域

・日本　・アメリカ　・カナダ　・ジャマイカ　・プエルトリコ　・ベネズエラ　・ホンジュラス　・メキシコ　・パナマ　・リベリア　など

そのほかの国／地域については、旅行代理店でお確かめください。

本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因となります。

故障かな？と思ったら

もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ビデオカメラなどが動作しない

- 電源プラグがコンセントからはずれている。
  → コンセントに差し込む。
- 接続コードを正しく接続していない。
  → 正しくつなぐ。
- モード切替スイッチが「充電」になっている。
  → 「ビデオ／カメラ」にする。

バッテリーの充電が行われない

- モード切替スイッチが「ビデオ／カメラ」になっている。
  → 「充電」にする。

バッテリーの残量が充分あるのに電源がすぐ切れる、または残量表示時間とずれが生じる

- バッテリーを使いきってから、もう一度満充電する。
  → 残量が正しく表示されます。

表示切替えが行われない

→ 「使用可能時間表示・バッテリー残量についてのご注意」をお読みください。

急速充電を行えない。

- バッテリーが高温または低温になっている。
  → 高温または低温になっているバッテリーを装着したり、10℃～30℃の推奨温度範囲外で充電すると下記のような表示になることがあります。この場合、充電は行われますが、バッテリー保護のため、急速充電は行われません。

充電ランプが点滅した場合は、以下の文章を確認して、適切に対処してください。点滅のパターンによって対処の方法が異なります。

バッテリーチャージャーの充電ランプには以下の 2 つの点滅パターンがあります。

速い点滅・・・・・・約0.15秒の点灯と消灯を繰り返す
遅い点滅・・・・・・約1.5秒の点灯と消灯を繰り返す

充電ランプが遅い点滅を繰り返し、表示窓に“充電待機”と表示される

充電が一時停止した待機状態になっています。
室温やバッテリーの温度が充電に適した温度範囲外のとき、自動的に充電が一時停止されます。
充電に適切な温度の範囲内に戻ると、充電ランプが点灯し充電が再開されます。
バッテリーの充電は、周囲温度が10℃～ 30℃の環境で行うことをおすすめします。

充電ランプが速い点滅をして、表示窓に“充電異常”と表示される

- 長期間使用していないバッテリーを充電している。
  → 長期間使用していないバッテリーは、本機とバッテリー間で認識に必要な最低限の残容量が不足している場合があります。この場合、本機からバッテリーを取りはずし、もう一度充電してください。
  それでも、“充電異常”が表示される場合、下記の手順にしたがって確認してください。

主な仕様

ACアダプター /チャージャー（AC-VQV10）

項目	仕様
定格入力	AC100V-240V　50/60Hz　26W
定格出力	DC8.4V 1.7A（VCR） DC8.4V 2.2A（BATT）
動作温度	0℃～40℃
保存温度	－20℃～＋60℃
外形寸法（最大突起物を除く）	約100×67×111mm（幅／高さ／奥行き）
質量	約330g

同梱物

ACアダプター／チャージャー（AC-VQV10本体）…………………（1）
電源コード……………………………………………………………（1）
接続コード（DK-225）………………………………………………（1）
印刷物一式

付属の電源コードについて

付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
●型名：AC-VQV10
●故障の状態：できるだけ詳しく
●お買い上げ日

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

記録内容の補償はできません

万一、本機の不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などは、ホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………… 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・ 0466-31-2511
受付時間 月～金：9:00～18:00
土・日・祝日：9:00～17:00

修理相談窓口
フリーダイヤル……………… 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。
受付時間 月～金：9:00～20:00
土・日・祝日：9:00～17:00

➡ 左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

AC-VQV10 は次のようにお使いになれます

- 付属の接続コードを使い、ソニー製機器(ビデオカメラなど)を動作させる。
- ソニー製リチャージャブルバッテリーパック(Vシリーズ、Hシリーズ、Pシリーズ)の充電器として使う。
  “インフォリチウム”バッテリーなので、以下の機能が働きます。“アクティフォース”バッテリーの場合は、さらに高度な制御になります。
  – 急速充電ができます。
    (通常充電(ビデオカメラ本体を使った充電など)より早く充電することができます。)
  – 充電終了時間および使用可能時間など、おおよその時間表示ができます。

> - 本機は、リチウムイオンタイプのバッテリー用です。ニカドタイプ、ニッケル水素タイプのバッテリーの充電には使えません。
> - 機器(ビデオカメラなど)によっては使えないものもあります。お使いになる前に、お手持ちの機器をお確かめください。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは

“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。本機は“インフォリチウム”バッテリー(Vシリーズ、Hシリーズ、Pシリーズ)対応です。“インフォリチウム”バッテリーには InfoLITHIUM ロゴが付いています。
“InfoLITHIUM”(“インフォリチウム”)はソニー株式会社の商標です。

“ActiFORCE”(“アクティフォース”)とは

当社従来の“インフォリチウム”バッテリー Pシリーズ電源システムに比較し高容量、急速充電、バッテリー残量計算精度、スピードを改善した、次世代電源システムの機能名称です。
“ActiFORCE”(“アクティフォース”)はソニー株式会社の商標です。

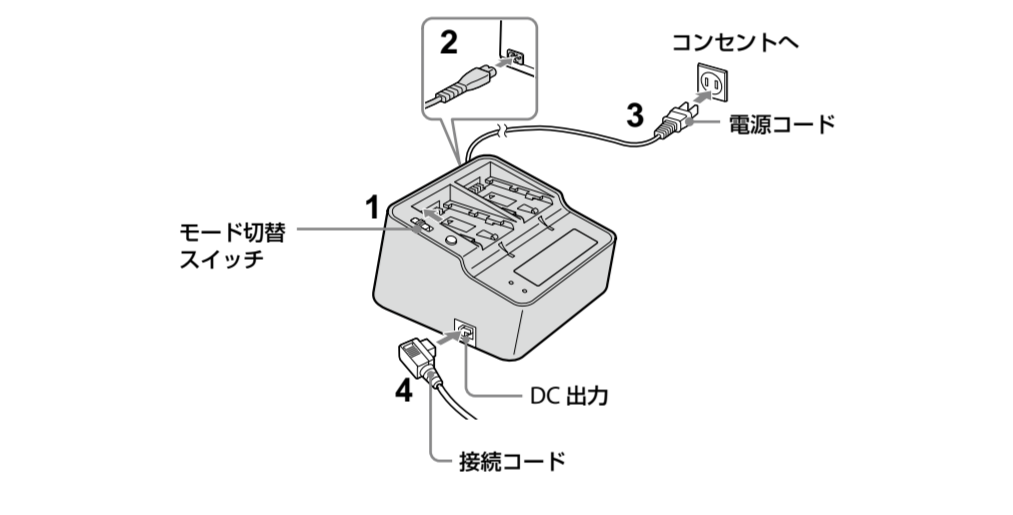
使用可能時間表示・バッテリー残量についてのご注意(必ずお読みください)

本機は充電器として使用中、以下の条件を満たせば、充電中のバッテリーをお手持ちのビデオカメラなどで使用した場合の使用可能時間・バッテリー残量の目安を表示します。
- “インフォリチウム”バッテリーを使用している。
- お手持ちのビデオカメラなどが“インフォリチウム”対応機種である。

お手持ちのバッテリーに InfoLITHIUM ロゴが付いているかご確認ください。また、お手持ちのビデオカメラなどの取扱説明書で“インフォリチウム”対応機種かどうかご確認ください。

複数の“インフォリチウム”対応のビデオカメラなどをお使いの場合は、最後にバッテリーを取り付けていた機器での使用時間を表示します。

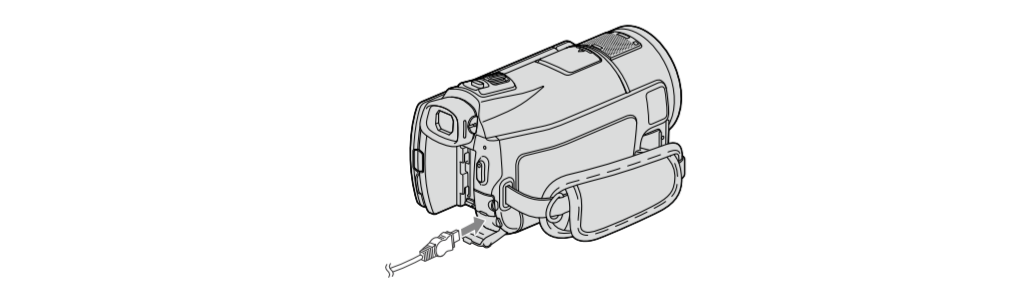
接続コードをつないで使う

ご使用の機器(ビデオカメラなど)の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 モード切替スイッチを「ビデオ/カメラ」にする。

2 電源コードを本体につなぐ。

3 コンセントへつなぐ。
「ピーッ」という音がして、表示窓に表示がでます。

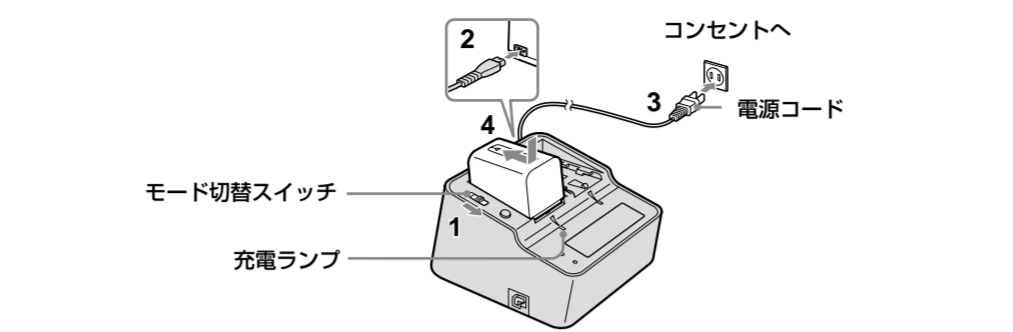
4 接続コードを DC 出力へつなぐ。

5 接続コードをビデオカメラへつなぐ。
接続コードの取り付け方向については、ビデオカメラなどの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- ビデオカメラなどを使用中に、モード切替スイッチを「充電」にすると、ビデオカメラなどへの電源の供給は中断されます。
- 「ビデオ/カメラ」のモードでは、本機にバッテリーを取り付けても充電することはできません。
- ビデオカメラなどの映像が乱れるときは、本機をお使いの機器から離してください。
- イラストは、デジタルHDビデオカメラレコーダー HDR-CX550Vの接続例です。

バッテリーを充電する

ご使用の機器(ビデオカメラなど)やバッテリーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

2
コンセントへ
3
電源コード
4
モード切替スイッチ
1
充電ランプ

1 モード切替スイッチを「充電」にする。

2 電源コードを本体につなぐ。

3 コンセントにつなぐ。
「ピーッ」という音がして、表示窓に表示がでます。

4 バッテリーを取り付ける。
「バッテリーの取り付けかたと、取りはずしかた」を参照して取り付けてください。充電が始まると、表示窓のバッテリーマークが順番に点滅し、充電ランプが点灯します。

5 充電終了後、バッテリーを取りはずす。
充電の終了には、実用充電と満充電があります。

実用充電	充電されるとバッテリーマークが右図の表示になります。	NORMAL
満充電	実用充電終了後、さらにバッテリーマークに「FULL」が表示されるまで充電を続けると、実用充電終了の状態で使用するより、若干長く使えるようになります。	FULL

「バッテリーの取り付けかたと、取りはずしかた」を参照して、取りはずしてください。

2 個のバッテリーを同時に取り付ける

本機は同時に2個のバッテリーを取り付けることができます。どちらか1個でも充電できます。同時に取り付けた場合、スロット[1]に取り付けたバッテリーから充電されます。
また、同時に取り付けない場合は、スロット[1]、[2]に関わらず、先に取り付けたバッテリーから充電されます。

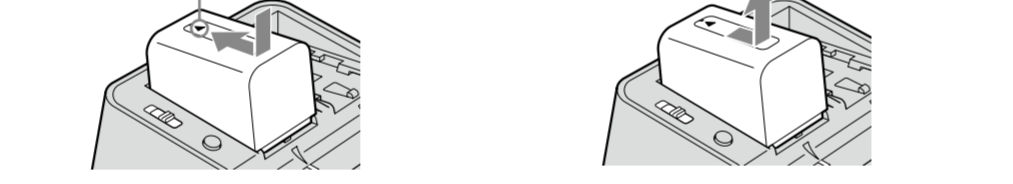
ご注意

2個のバッテリーを取り付けることができますが、同時に充電することはできません。

バッテリーの取り付けかたと、取りはずしかた

取り付けかた
❶ 本機の上にバッテリーを置く。
❷ 矢印の方向にバッテリーをスライドさせる。

◀ マーク側を端子側にあわせる。

取りはずしかた
バッテリーを取り付けたときと反対の方向にスライドさせ、真上に持ち上げる。

ご注意

- バッテリーをつかんで、本機を持ち上げないでください。
- バッテリーを取り付けるときなどは、ぶつけないよう、特にご注意ください。
- バッテリーを取り付けるときや、取りはずすときに指をはさまないようご注意ください。

主なバッテリーの充電時間

急速充電

“インフォリチウム”バッテリー Vシリーズ

	NP-FV100	NP-FV70	NP-FV50
実用充電時間	約125分	約70分	約55分
満充電時間	約185分	約130分	約115分

“インフォリチウム”バッテリー Hシリーズ

	NP-FH100	NP-FH70	NP-FH50
実用充電時間	約130分	約65分	約55分
満充電時間	約190分	約125分	約115分

“インフォリチウム”バッテリー Pシリーズ

	NP-FP90	NP-FP71	NP-FP50
実用充電時間	約115分	約80分	約65分
満充電時間	約175分	約140分	約125分

- ビデオカメラなどで使い切ったバッテリーを25℃の室温で充電したときの時間です。
- 周囲の温度やバッテリーの状態によっては、上記の時間と異なる場合があります。

急いで使いたいとき

バッテリーは、充電が完了する前でも必要なときに取りはずして使えます。ただし、充電時間によってお使いになれる時間が異なります。

充電時間および「10 分充電/約 30 分録画」について

使用環境温度25℃で、別売のリチャージャブルバッテリーパックNP-FV70と、消費電力3.1Wのビデオカメラを液晶表示しないで使用した場合の連続撮影時間の目安です。
バッテリーは、ビデオカメラで使いきった直後のバッテリーを使用した場合です。長期間使用していなかったものなど、劣化しているバッテリーを除きます。充電には、実用充電と満充電があります。一般に、充電時間、録画可能時間は、バッテリーや使用状態などで異なります。

ご注意

- 充電中にモード切替スイッチを「ビデオ/カメラ」にすると、充電は中断されます。
- 充電ランプが点灯しなかったり点滅したときは、バッテリーがしっかり取り付けられているか確認してください。しっかり取り付けられていないと、充電されないことがあります。

充電中に何か異常があると、充電ランプが点滅し、表示窓に“充電異常”と表示されます。
詳しくは「故障かな?と思ったら」をお読みください。

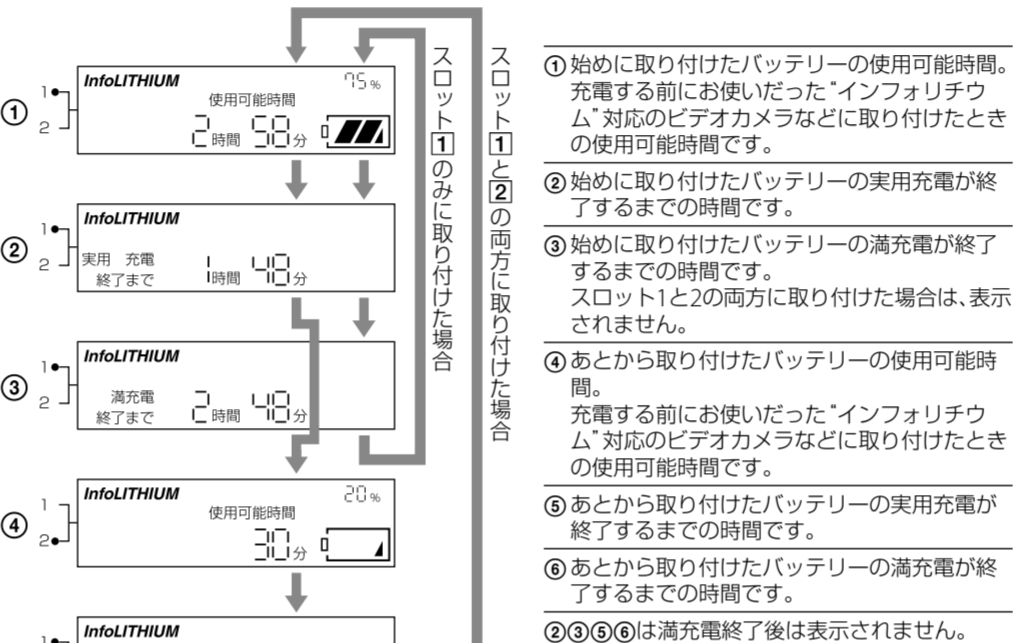
充電の状況を確認する

充電を開始すると、表示窓に使用可能時間やバッテリー残量*が表示されます。(*バッテリー残量の%表示はVシリーズバッテリー使用時の場合。)
使用可能時間はビデオカメラのビューファインダーを使って撮影した場合の使用可能時間の目安です。液晶画面を使うと、使用可能時間は短くなります。
ご使用のビデオカメラによっては、「使用可能時間」が表示されないことがあります。詳しくは、「使用可能時間表示・バッテリー残量についてのご注意」をお読みください。

充電中に表示切替ボタンを押す。

充電中、表示切替ボタンを押すごとに、表示内容を切り替えることができます。スロット表示ランプの点灯は、表示しているバッテリー情報のスロットの番号を示しています。2個同時にバッテリーを取り付けた場合、充電が行われていないバッテリーの時間表示は約10秒後に充電中のバッテリーの時間表示に自動的にもどります。

ここではスロット[1]に最初にバッテリーを取り付け、次にスロット[2]にバッテリーを取り付けた場合を例に示します。スロット表示ランプはスロットの番号に対応しています。

表示切替ボタンを押すごとに表示が切り替わります。

① 始めに取り付けたバッテリーの使用可能時間。
充電する前にお使いだった“インフォリチウム”対応のビデオカメラなどに取り付けたときの使用可能時間です。

② 始めに取り付けたバッテリーの実用充電が終了するまでの時間です。

③ 始めに取り付けたバッテリーの満充電が終了するまでの時間です。
スロット1と2の両方に取り付けた場合は、表示されません。

④ あとから取り付けたバッテリーの使用可能時間。
充電する前にお使いだった“インフォリチウム”対応のビデオカメラなどに取り付けたときの使用可能時間です。

⑤ あとから取り付けたバッテリーの実用充電が終了するまでの時間です。

⑥ あとから取り付けたバッテリーの満充電が終了するまでの時間です。

②③⑤⑥は満充電終了後は表示されません。

ご注意

- 表示時間やバッテリー残量は25℃の室温で充電したときの目安です。使用環境によって実際の時間やバッテリー残量と異なる場合があります。また、バッテリーの状態によっては、時間やバッテリー残量が表示されない場合がありますが、故障ではありません。
- 表示切替ボタンを押してから時間表示するまでしばらく時間がかかることがあります。
- 充電していない側のバッテリーは、時間やバッテリー残量表示までに時間のかかる場合があります。
- 新品のバッテリーで使用可能時間を表示するには、お使いのビデオカメラなどにバッテリーを取り付け、20秒程度ご使用ください。そのあと、本機に取り付け、充電を開始してください。
- 満充電済みのバッテリーを取り付けると「満充電終了まで1時間」の表示が出ることがありますが、故障ではありません。
- 以下のときは、時間表示が「-- --」になることがありますが、故障ではありません。
  – 表示時間と実際の充電時間にずれが生じたとき(そのまま満充電まで充電を続けてください。)
  – “インフォリチウム”バッテリーではないとき(使用可能時間表示などの機能はありません。)
- 以下の場合は時間の表示にずれが生じることがありますが、故障ではありません。
  – 実用充電終了から満充電終了までの間に、本機からバッテリーを取りはずした場合。
    (実用充電終了から満充電終了までは約1時間です。)
  – 長時間使用していないバッテリーを充電する場合。(一度、満充電まで充電してください。)
- “インフォリチウム”バッテリー Pシリーズを充電する場合、バッテリーを取り付けてから、表示窓に時間を表示するまでに約1分ほど時間がかかることがあります。

各部のなまえ

表示窓の表示